

手と足の「器用さ」の見える化

手足の器用さを簡便に評価し、
トレーニングやリハビリの効果を定量的に伝えます

#ウェルビーイング・人的資本経営 #顧客体験価値向上



///技術課題

従来の利き手や利き足の調査は特殊な器具を使用して測定したため、実際の運動スキルを簡便に測定することが困難でした。

///研究目標

スマートフォンを用いた、短時間で簡便な「手足の器用さ」を評価する技術を開発し、日々のヘルスケアに貢献します。

---要素技術

スマートフォンを用いた短時間の繰り返し運動を評価するNTT独自のアルゴリズム

---市中技術差異点

- 今まで困難であった大規模なデータ取得を通じて、個人ごとの器用さを同年齢層内との比較を通じて評価可能
- 年齢に応じた器用さの変化や、利き手の矯正が左右の手の器用さバランスや足の器用さに与える影響について、世界で初めて大規模に調査

---適用ビジネス

スポーツ、医療、介護産業などにおいて、トレーニングやリハビリの効果を「見える化」するユースケースに活用可能（1～2年後の技術確立をイメージ）